

「スタートアップステーション・ジョージ山形」
から始まる山形県のイノベーション



創業支援センター設置事業【新規】

34,686 千円

目的




- 創業希望者や県内で事業を起こそうと考えている若者、リスタートを目指す方々など、多様な人々の起業・創業を支援する拠点を創設し、産・学・官・金等の関係機関が連携して、様々なビジネスアイデアを具体化することにより、県内での事業創出や雇用拡大を促進する。

事業内容

- 霞城セントラル内（1F・2F）に、県内での起業・創業支援のワンストップ窓口と、県内コワーキングスペースの中核的機能を有する「山形県創業支援センター(仮称)」を創設



《機能イメージ》

<p>【2F】</p> 	<ul style="list-style-type: none">・ 産業支援機関の支援を受けながら、創業希望者が有するアイデアを具体的なビジネスプランの形にし、事業を始める場・ コワーキングスペースネットワークの中核として、ビジネス情報の発信を行うとともに、県内外のコワーキングスペースに集まる人の相互交流を促し、新たなビジネスを構築する場	<p>コワーキングスペースイメージ</p> 
<p>【1F】</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 創業希望者が最初に訪問、相談する窓口で、相談内容や熟度に応じて各種支援機関（行政、商工団体、金融機関、各コワーキングスペース等）への橋渡しを行う・ 創業関連イベント、セミナー等の開催により県内外の起業家、ビジネスパーソン、行政、研究機関、大学など様々な分野の「人」が交流し新たなビジネスチャンスが生まれるオープンイノベーションの場	<p>セミナーイメージ</p> 



移住・関係人口創出拡大推進事業費

24,102千円

目 的

- 新型コロナを機に地方への関心が高まる中、二地域居住、ワーケーション、副業などの新しいニーズを取り込むため、移住希望者の関心が高い「仕事」や「山形の魅力」等を通じたアプローチにより、本県への移住・定住を推進する。

事業内容

- 1 「Yamagata みらいコミュニティ(仮称)」の設置・運営 1,364千円
 本県の移住促進策を深掘りするとともに、二地域居住、ワーケーション、副業も含めた「やまがた暮らし」全体について、関係者同士をつなぐリアル・オンラインのコミュニティを創る。

2 移住・定住促進策

(1) 多様な移住形態の支援 ～やまがた移住アラカルト～

- ① プチ滞在等多様な滞在プログラムの実施 10,025千円
 関係部局等と連携しつつ、様々な体験メニューの提供による市町村と連携した滞在プログラムの実施

- ② 副業人材活用による移住促進 8,789千円
 県外人材を対象に県内企業等と副業をマッチング
 また、応募者に対して、ふるさと山形移住・定住推進センター（くらすべ山形）が移住に向けアプローチ

- ③ オンライン関係人口の創出 1,542千円
 新たなビジネス機会創出等に向けたオンラインセミナーや首都圏と本県を結んだコワーキングスペースを活用したイベントの開催



新たなビジネス機会を創出する
オンラインイベント



ジョージ・ヤマガタ氏 presents
第1回オンラインセミナー
「山形 KAIGO*ILYou Revolution」

(2) 山形の魅力発信による移住促進

- ① 発信力の高い人に着目した山形の魅力発信 1,382千円
 地域づくり実践者、地域密着系ユーチューバー等による山形の魅力の継続発信
- ② 「LINE」等を活用した移住情報の発信・相談 1,000千円

令和2年度9月補正から実施



新結合!!

山形県
スタートアップ
拠点



ジョージ・ヤマガタ氏

ジョージ・ヤマガタ presents オンラインセミナー ～ 令和2年度には3回実施！ 令和3年度には4月1日から毎週木曜日開催！ ～

ジョージ・ヤマガタ氏 presents
完全オンラインセミナー
『山形中央駅の誕生!!!』

2021. 4. 1/Thu/16:00~19:50
オープニングイベント開催



ジョージ・ヤマガタ氏 presents 完全オンラインセミナー

『地域食材による持続的な地域活性化』

2021. 4. 8/Thu/18:00~19:20



ジョージ・ヤマガタ氏 presents 完全オンラインセミナー

『なにかやってみみたい大学生必見！
山形でできる新たな一歩』

2021. 4. 15/Thu/18:00~19:30



ジョージ・ヤマガタ氏 presents 完全オンラインセミナー

『山形＊福業神財革命!!!』

2021. 4. 22/Thu/18:00~20:35



ジョージ・ヤマガタ presents オンラインセミナー



※金融&IT業界の情報サイト「グッドウェイ」開催レポートより

ジョージ・ヤマガタ presents オンラインセミナー 令和2年度 第1回 (令和2年11月16日)

テーマ 「KAiGO*ILYou Revolution」

1 登壇者



○ユビキタス医療介護製品と産業としての可能性について

- ・青山竜文 氏 (日本政策投資銀行 ヘルスケア室 室長)
- ・伊藤順哉 氏 (株)つるかめ 代表取締役社長)
- ・峯啓真 氏 (株)シェアメディカル 代表取締役CEO)
- ファシリテーター: 留目真伸 氏 (SUNDRED(株)代表取締役)

○「山形 KAiGO*ILYou Revolution」の未来

- ・大森朝之 氏 (財務省大臣官房文書課広報室長)
- ・マンジョット・ベティ 氏 (株)next is east代表取締役)
- ・三浦亮 氏 (株)LINK 代表取締役社長)
- ファシリテーター: 小林剛也 (山形県みらい企画創造部長)

2 主な内容

- ◇ 介護・医療は永遠のテーマであり、ビジネスとしての今後の成長領域として期待
- ◇ デジタル技術の活用等により、介護にかかわる人々の負担を軽減しようとする先進的な取組を紹介
- ◇ そのような取組や医療関係の新製品とのコラボレーション、介護・医療の未来について活発に意見交換

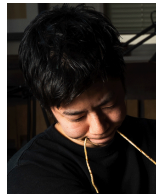
3 成果

- ◇ 当セミナーがきっかけとなり、登壇した県内介護事業者の新たなサービスが地元テレビ局のニュースの特集で取り上げられた
- ◇ 登壇した県内介護事業者と都内の医療スタートアップがつながり、新商品を使った介護サービスの提供を検討

ジョージ・ヤマガタ presents オンラインセミナー 令和2年度 第2回(R3.2.5) 令和3年度 第12回 (R3.7.1)

テーマ 「クリエイティブ神財」

1 主な登壇者



令和2年度 第2回

- ・小林舞香氏 (画家、壁画師)
- ・KiNG氏 (アーティスト、デザイナー、プロデューサー)
- ・野崎真志氏 (映像作家、プロデューサー)
- ・富岡宏一郎氏 (富岡本店)

令和3年度 第12回

- ・高橋駿斗氏 (Enogg代表取締役) ほか所属アーティスト
- ・渡邊秀賢氏 (NPO法人かみのやまランドバンク理事長)
- ・泉虎吉氏 (テクニカルアーティスト)

2 主な内容

令和2年度 第2回(山形市)

- ◇ 「地方」「都会」という二項対立を超え、より普遍的な意味を持つ「場所(トポス)」とアート、イノベーションの関係

令和3年度 第12回(上山市)

- ◇ 創作活動の場としての山形の可能性
- ◇ 山形で制作活動ができる場所について

3 成果

- ◇ 上山市での当セミナー開催後、登壇者であるアート作品の展示等を行うスタートアップとかみのやまランドバンクが、展示場所の提供について合意
- ◇ セミナー開催から約2週間後には、上山駅前のワーキングスペース併設の場所で、アート作品の展示や創作を行うイベントを開催

テーマ 「Show Night Hammer 釣りケーション」

1 主な登壇者



- ・中川めぐみ 氏 (一般社団法人ウオー代表理事)
- ・松並三男 氏 (鮭川村地域おこし協力隊)
- ・尹聖玲 氏 (株)ANA総合研究所「元気な日本」創生事業部)
- ・銭本慧 氏 (合同会社フラットアワー代表)
- ・八木健介 氏 (株)つり人社編集部マネージャー)
- ・阿部信彦 氏 (県水産研究所所長)

2 主な内容

- ◇ 庄内浜の釣り文化を背景に県が提案し、鶴岡市由良地区で検討が始まったワーケーション「庄内浜釣りケーション」の進め方について、釣り、交通、水産の専門家を交えて意見交換
- ◇ 庄内浜全体への拡大、釣りケーションの魅力発信の方法について幅広く議論

3 成果

- ◇ 一部の地域から始まった取組みが、このセミナーでの議論を経て、庄内総合支庁を中心に庄内2市3町、ANAなどの交通事業者との連携による実証事業へ
- ◇ 登壇した松並氏の鮭の資源保護活動にスポットを当てて、鮭川村において今月「さけがわサーモン月間」を開催。オンラインセミナーをジョージ・ヤマガタセミナーと共催し、幅広い会員に周知



庄内浜
釣りケーション

庄内浜 釣りケーション

山形県庄内で、
釣りを楽しもう。

- はたらく 
- 釣る 
- とまる 
- マップ情報 

ワーケーションしながら
気軽に釣りを楽しめる、
庄内浜釣りケーション。

庄内地域は日本海に面し、広大な平野が広がる自然豊かな地域です。都会を離れた庄内での「ソータイム」の合間に、庄内浜に出かけて「釣り」

由良地区 釣りケーション モニターイベント





さけがわ サーモン 月間

鮭が上る川を、次の世代へ。

2021年11月

鮭漁の現場から、鮭について考える1か月

日本で唯一、自治体名に「鮭」の名が入る鮭川村。
その名前の由来となった村の中心部を流れる鮭が上る清流「鮭川」
縄文時代から鮭を食べてきた歴史と、今も残る保存食「鮭の新切り(ようのじんぎり)」
海から60kmの雪深い内陸にて、鮭を増やす人工孵化のために今も鮭の採捕が行われている。
市場が養殖鮭に入れ替わってから約30年たった今、この地に鮭が上ることにどんな意味があるのだろうか。
内陸にある鮭の現場から、鮭について考える1か月

主催: 鮭川村 鮭川村地域おこし協力隊 共催: 山形県 協力: サーモンロードの会 最上漁業協同組合

鮭情報はここから
“Salmon River Yamagata”



SALMONRIVER.YAMAGATA

Instagram Facebook

Salmon Day Online

18:00 ~ 19:30 @ZOOM 定員 200 名

- 11月11日(木) vol.1 「**鮭を増やすこと**」
- 11月19日(金) vol.2 「**鮭科魚類の養殖を考える。**」
- 11月22日(月) vol.3 「**遡上した鮭を活かす。**」
- 11月26日(金) vol.4 「**在来魚の価値と未来**」

主催：鮭川村 共催：山形県 協力：最上漁業協同組合、サーモンロードの会

Salmon Day Online vol.1

鮭を増やすこと

2021年11月11日(木) 18:00 ~ 19:30 @ZOOM 定員 200名



ジョージ・ヤマガタ
コラボイベント

主催：鮭川村 共催：山形県 協力：最上漁業協同組合、サーモンロードの会

鮭を増やすこと

日本の内水面における鮭漁業の主目的は、鮭を増やすための親魚の「採捕」とされています。人工孵化事業の現場の高齢化や施設の老朽化などの課題が多い中で、低コストで河川環境を活かした鮭に関する新しい手法「発眼卵放流」の研究を行っている飯田真也氏に、これからの鮭の「増やし方」について紹介していただき、県内では最大の遡上量を誇る遊佐町の枅川鮭漁業生産組合の尾形組合長をはじめ山形県内の関係者で鮭を「増やすこと」について語り合います。

基調講演 「省コストな発眼卵放流について」



飯田 真也（水産研究・教育機構 水産資源研究所 主任研究員）

水産研究・教育機構 水産資源研究所 主任研究員。サケのダイナミックな生活史に惹かれ、北海道大学水産学部に進学。本州日本海側においてサケ資源を持続的に利用するために何が必要かを日々模索し、サケふ化放流事業の省コスト化や野生サケの保全に関する研究を進行中。農学博士。

日時：2021年11月11日（木）18:00～19:30

会場：ZOOM 定員 200名

予約：google フォーム [こちら→](#)

問合せ：鮭川村むらづくり推進課

地域おこし協力隊 松並

0233-55-2111



パネリスト



尾形 修一郎（枅川鮭漁業生産組合 組合長）

昭和23年11月8日、73歳。遊佐町生まれの遊佐町育ち、この地の鮭に関わり始め、祖父の代から3代目。本業は農業。高校卒業後すぐに、祖父の手伝いで鮭の孵化事業に関わり始め、50年以上鮭に関わってきた。ふ化場が新しくなって5年目を迎えた昨年は、日本全体で鮭の不漁が叫ばれる中、前年の倍以上となる72000尾ほどが遡上し、人工孵化事業で大きな成果をあげることができました。この鮭と農業の文化を、次の世代に残していくことを目指し、奮闘しています。



笠原 裕（山形県水産振興協会、県職員OB）

サケとの関係は、入庁からの15年間で県内の水産関係4公所すべてでサケの増殖事業を担当した因縁の間柄と自負している。その間、北海道へサケふ化放流技術研修に行き、そこで得た知識と経験を基に「山形県におけるさけふ化事業基本マニュアル」を作った。座右の銘は「健苗育成」、カラオケの十八番は「帰ってこいよ」

■ 霞城セントラルはあらゆるビジネス支援の拠点！！

○霞城セントラル内の支援施設

1. 企業振興公社
2. 中小企業団体中央会
3. 中小企業再生支援協議会
4. 事業引継ぎ支援センター
5. 信用保証協会



- ①山形県よろず支援拠点
(山形県産業創造支援センター内)
- ②山形県企業振興公社
(霞城セントラル内)
- ③やまがた農業支援センター
- ④日本政策金融公庫山形支店
- ⑤山形銀行本店営業部
- ⑥荘内銀行山形本部
- ⑦きらやか銀行本店営業部
- ⑧山形県工業技術センター
- ⑨山形県情報産業協会
(YCC情報システム社内)
- ⑩東北税理士会山形県支部連合
(山形県税理士会館)
- ⑪山形労働局
- ⑫ジェットロ山形
- ⑬東北芸術工科大学

○工業技術センター敷地内の施設

1. 産業技術短期大学
2. 高度技術研究開発センター
3. 職業能力開発専門学校
4. IoTイノベーションセンター



○東北芸術工科大学
- I-To Lab.



「スタートアップステーション・ジョージ山形」 霞城セントラルに11月18日(木) オープン!!



スタートアップ（起業）したい若者、リスタートを目指す方々など、多様な形のスタートアップを支援する拠点を創設し、ビジネスアイデアの具体化を支援することにより、県内での事業創出や雇用の拡大を図る。

機能

◆スタートアップ相談窓口

◆県内と常時つながれた
コワーキングスペース

◆多様な人材の交流の場

施設概要

○名称：スタートアップステーション・ジョージ山形
(霞城セントラル2階)

○開所日：令和3年11月18日(木) グランドオープン

※プレオープン：11/11(木)～11/17(水) 無料開放

報道機関内覧日：11/11(木)～11/12(金)

時間は14:00～(両日とも)

○営業時間：月～金 午前9時～午後8時
土、日 午前9時～午後6時

○休館日：祝祭日、年末年始

○利用料金：

会員区分	金額
ドロップイン(日会員)	500円/日
月会員	3,000円/月
半年会員	16,000円
年会員	30,000円
法人・団体会員	50,000円/年
バーチャルオフィス会員	15,000円/月

内装(デザイン)



○席数

最大50席

○ミーティングルーム

3部屋(有料)









「スタートアップステーション・
ジョージ山形」から
山形の**新結合**が始まる！

